

# 一般質問通告書

佐野市議会議長 様

受付	番号	5
	令和	2年 8月26日
	午前・午後	11時10分

議会名	令和 2 年 第 5 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 11番 本郷 淳一		
答弁を求める者 (選択してください)	<input type="checkbox"/> 市長 ・ <input type="checkbox"/> 副市長 ・ <input type="checkbox"/> 教育長 ・ <input type="checkbox"/> 担当部局長		
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	<input type="checkbox"/> あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ モニター使用) <input checked="" type="checkbox"/> なし		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 令和元年東日本台風の復旧・復興について  (1) エトワール天神付近の雨水幹線等の浸水対応について  (2) 令和元年東日本台風対応の検証について	①当局の現状認識と対策の基本的考え方 令和元年東日本台風により、天神町・朝日町・大蔵町・大町など甚大な浸水被害が発生した。その原因は、秋山川の越水とエトワール天神付近の雨水幹線及び大町公民館付近の水門が閉じられたことによる内水氾濫と考えられる。当局の現状認識と対策の基本的考え方について伺いたい。  ②排水ポンプの設置 エトワール天神付近及び大町公民館付近で発生している道路冠水は、雷雨等により頻繁に発生しており、その対策が急務である。その対策の一つとして、水門が閉じた時、ポンプによる強制排水が大変重要であると考え。そこで排水ポンプ設置に対する見解を伺いたい。  ①令和元年東日本台風の対応検証に対する見解 令和元年東日本台風発災当初において、迅速な意思決定や情報周知のあり方、避難所や防災倉庫の見直し、被災者支援制度の創設や周知、土砂の撤去や災害ごみの受け入れ、各部門における相談		

<p>2. 国道50号沿線の開発構 想について</p> <p>(1) 構想の進捗状況につい て</p> <p>(2) 今後の進め方について</p>	<p>や受付業務等、様々見直すべき点がある。発災から約1年がたとうとしている今、もう一度令和元年東日本台風の対応について、全部門において徹底的に検証を行い、今後に備えるべきであると考えが、当局の見解を伺いたい。</p> <p>②令和元年東日本台風の対応検証の基本的考え方 災害時における対応についての検証は大変重要であり、徹底的かつ迅速に行うべきと考える。また、今後は行政が行うべき役割のさらなる推進と市民の主体性の醸成も必要であると考え。そこで、検証をいつまでに、どこが責任をもって実施するのか、その結果を今後の行動にどのように反映していく考えか、検証の基本的考え方を伺いたい。</p> <p>①構想の進捗状況 2019年3月に国道50号沿線開発構想が策定され大いに期待されている。しかし、本市にとって大変重要な施策であるにも関わらず一向に進展が見られない。そこで構想の進捗状況を伺いたい。</p> <p>②開発想定エリアの基本的考え方 構想では、西エリアは新たな工業団地の設置など産業用途での開発を見込み、東エリアは観光施設の開発などを進めることとなっているが、現段階では漠然としている。そこで開発想定エリアの基本的考え方について伺いたい。</p> <p>①今後の進め方 国道50号沿線の開発は、本市の将来にとって大変重要な施策であるとともに、迅速かつ確実に実現していかなければならないと考える。そこで今後の進め方について伺いたい。</p>
---	--